熊	本高等轉]門学校	開講年度]04年度 (2022年			創造性工学	
科目基础							1	
科目番号				科目区		専門 / 必	公修	
授業形態		授業			 種別と単位数	学修単位		
開設学科				対象学		専1		
開設期		前期				2		
教科書/教	7++		いったら知ってもきたい「	週時間 プロジェクトフラミン				
教科音/多 担当教員	X17/J			ノロシエクトマネシス	・ノト」天成神	坐、171除八里	開省、口本天未山似位	
		小田川	怡人					
到達目標								
(2)プI (3)プI (4)実	ロジェクト ロジェクト 際にプロジ	マネジメン マネジメン	礎を学び実践する。 トの基礎を理解し説明でき トにおける、目標設定、計i ジメントを体験し、学習し	画、実行、修正のポィ	´ントを理解し <u>™</u> きる。	説明できる。		
ルーブリック			理想的な到達しべルの	理想的な到達レベルの目安標準的な到達		・ベルの目安 未到達レベルの目安		
			· · ·			ョンの基礎と技術 ファシリテーションの基礎と技術		
ファシリテーションの基礎			を理解し、グループワ 的に適用できる。	リークに効果 を理解 を試み	を理解し、グループワークに適用 を試みることができる。		きません では を理解しているが、グループワークへの適用に至らない。	
プロジェクトマネジメントの基礎			プロジェクトマネジメ 性とプロジェクトマネ 割について理解し具体 きる。	ページャの役 性とブ	プロジェクトマネジメントの必要性とプロジェクトマネージャの役割について理解し概要を説明できる。		と 性、プロジェクトマネージャの役	
プロジェクトマネジメントにおけ る目標設定・計画・実行・修正			目標設定、計画、実行 イントを説明できる。 階で有効な技術を理解 る。	また、各段 イント ∤し説明でき 各段階	目標設定、計画、実行、修正のポイントを概ね説明できる。また、 各段階で有効な技術を概ね理解し 説明できる。		イント、及び各段階で有効な技術	
プロジェゲ	クトマネジ	メントの実	プロジェクトマネジメ は、学修した知識・技 に活用できる。	がんが果的 し、学	プロジェクトマネジメントを体験 し、学修した知識・技術の活用を 試行できる。		プロジェクトマネジメントの体験 において、学修した知識・技術を 活用していない。	
学科の	到達目標」	項目との	関係					
教育方法	去等							
授業の進む 	め方・方法	に身近が アシリラ 基本的(授業中(後半で(はテーマについてプロジェクテーションについても学ぶ。 こテキストとスライドに従って練習のワークをしていく。 は実際にプロジェクトマネラ	クトマネージメントを 。本科目の実践の場と って講義を進める。テ 。ワークを行った結果 ジメントをグループワ	・グループワーク として「創成技術 ・キストで紹介で はについては、し リークで体験する	クで体験する ボデザインま されている! ンポートとし る。	ントの技術と知識を学ぶ。また、実際 3。また、グループワークに必要なフ 程習 I 、 II 」での活用も期待される。 具体的な手法については、できる限り して提出を求めることもある。また、 こと、本科目は、1単位あたり30時間程	
		•	学学習が課せられます。					
授業の原	禹性・履作	修上の区分						
□ アクラ	ティブラーニ	ニング	□ ICT 利用	□ 遠	隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業	
	 面							
		週	授業内容			との到達目	堙	
前期	1stQ	1週		ディラロ ガイダンス ファシリテーションの基礎(1)			授業の内容および評価方法を理解する。 ファシリテーションの基礎について理解し説明できる	
		2週	ファシリテーションの基	アシリテーションの基礎(2)		ファシリテーションの基礎について理解し説明できる。		
		3週	ファシリテーションの基	アシリテーションの基礎(3)		ファシリテーションの基礎について理解し説明できる。		
		4週	ファシリテーションの基	アシリテーションの基礎(4)		ファシリテーションの基礎について理解し、実践できる。		
		5週	ファシリテーションの基礎(5)		ファ る。	ファシリテーションの基礎について理解し、実践でき る。		
		6週	プロジェクトマネジメントの基本		プロ	プロジェクトマネジメントとは何か基本を理解する		
		7週	プロジェクトマネジメントの目標設定		目標	目標の設定の重要性と方法について理解する。		
		8週	プロジェクトマネジメン	プロジェクトマネジメントの計画(1)		計画の重要性を理解し、計画立案に有効な具体的な手法を理解する。		
	2ndQ	9週	プロジェクトマネジメン	プロジェクトマネジメントの計画(2)		計画の重要性を理解し、計画立案に有効な具体的な手法を理解する。		
		10週	プロジェクトマネジメン	プロジェクトマネジメントの実行		実効段階で必要となる、チームビルディング、進捗管理、プロジェクトの変更について理解する。		
		4.4 \\		プロジェクトマネジメントの思考			プロジェクトマネジメントを実践するために必要な思 考について理解する。	
	2ndQ	11週	プロシェクトマネシメン	NO忠考 				
	2ndQ	11週	プロジェクトマネジメン		考に グル	ついて理解	する。 れてでテーマを設定し、プロジェクト	

	14週	プロジェクトマネ			グループに分かれてでテーマを設定し、プロジェクト マネジメントを体験する。		
	15週	まとめ		実践体験について	まとめてレポートを提出する。		
	16週						
モデルコアカリ	キュラムの	学習内容と到達	目標				
分類	分類 分野		学習内容の到達目標				
評価割合							
	レホ	ペート	ポートフォリオ	相互評価	合計		
総合評価割合	70		25	5	100		
基礎的能力	20	·	10	5	35		
専門的能力	20		5	0	25		
分野横断的能力	30		10	0	40		